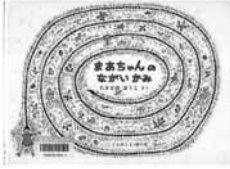


まあちゃんのながいかみ



たかどの ほうこ さく

福音館書店 1989年 780円

28ページ 20×27cm

みじかいおかっぱのまあちゃん。長い髪が自慢の友達とおやつを食べながら、自分も髪をのばすんだと宣言します。「そのながいことといったらね…」とはじまる、まあちゃんの長い髪の使い方、お手入れの仕方なんとユニークなこと。ページを開くたびに、びっくりわくわくの連続です。子どものもつ自由な発想は頭の固くなりがちな大人たちにも新鮮な刺激をくれます。絵本の見開きを横に縦にと大胆に使っているのもこの作品の魅力の一つです。お子さんに読んであげる時は、次のページは横開きか縦開きか、事前にこっそり練習してみてください。まあちゃんの想像の世界にすっぽり入ったお子さんから歓声があがることうけあいです。



まほうつかいのノナばあさん

トミー・デ・パオラ ぶん・え

ゆあさ ふみえ やく

ほるぷ出版 1978年 1470円

32ページ 29×22cm

昔、ストレガ・ノナと呼ばれるおばあさんがいました。それは“まほうつかいのおばあさん”という意味の名で、みんなひそひそ噂しましたが、困ったことがあると誰もがストレガ・ノナのもとへ行きました。病気を治してもらったり、魔法の薬を作ってもらったりするのです。あるとき、ストレガ・ノナは、お手伝いさんを雇います。やってきたのは、うっかり者のノッポのアンソニイ。アンソニイと一緒に暮らすうちにストレガ・ノナの秘密の魔法を知り、真似をします。古くからイタリアに伝わるお話をもとにした、ゆかいな絵本。まるみを帯びた絵が全体にユーモアをあたえ、あたたかなクリーム色が中世ヨーロッパの町並みの雰囲気をもたえています。